

ゆうらいふ通信


平成 28 年 10 月 発行

出前講座に伺いま〜す!

◆ 田中老人クラブ様・中老人クラブ様出前講座

7月31日、河西学区の田中老人クラブ様より、また、8月27日は中老人クラブ様より出前講座にお招きいただきました。

理事長の山田が「皆さんを支援する経験から分かってきたこと」をテーマに医療との関わり方や認知症についてお話をさせていただきました。難しいテーマにも関わらず、皆さまにはとても熱心にお聞きいただき、また笑い声の絶えない楽しい時間となりました。




学会参加報告

◆ 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク第22回全国の集い in 鹿児島

リハビリサポートゆうらいふ 剣熊恵亮


9月18・19日に鹿児島市で開催された「在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク第22回全国の集い」に、山田理事長、小泉君（ケアワーカー）と私の3人で参加してきました。厚生労働省で介護事業を先導されてきた方の講演や、先進的な取り組みをされている全国の事業所の方々の分科会報告はどれも大変興味深く勉強になりました。今後の活動に生かしていきたいと思えます。



編集後記

先日、ある研修に参加してきました。参加者は、福祉用具販売に携わる企業の方です。講師が登壇するたびに、参加者の「こんにちは!」「よろしくお祈りします!」と元気な声が響きました。とても気分よく、頑張ろうという気持ちになりました。あらためて挨拶の大切さを感じました。

さて、当法人では、職員が外部研修へ参加することが推奨されています。そのため、多くの職員が外へ出て、積極的に専門知識を学んでいます。今冬にはデンマーク視察研修も予定されています。参加した職員より、どんな新たな風が吹き込んでくるのか楽しみです。(上坂友美)



おいしい話 栄養だより Vol.11

実りの季節がやってきました!今回は**果物**についてご紹介します。

◎**果物を1日200g食べて健康に**
「食事バランスガイド」(厚生省・農水省)では、果物を毎日2つ(おおよそ200g)食べることを勧めています。ビタミン、ミネラルや食物繊維などが豊かに含まれているため、食事に取り入れることで栄養バランスを整えることができます。

200gの目安: なし1個、ぶどう1房、巨峰1/2房、かき2個、キウイ2個、りんご1個、みかん2個

◎**朝食に果物を**
1日を気持ちよく過ごすため、朝食に果物を取り入れましょう。脳のエネルギーはブドウ糖です。睡眠中に消費されたブドウ糖を、早い時点で効率よく摂取し、活力ある1日を送りましょう。

◎**生の果物と果汁ジュース**
ジュースは生の果物に比べ、食物繊維など一部の栄養素は少なくなりますが、果物を食べる時間がない時は、果汁100%ジュースで補うのも良い方法です。

◎**血圧の気なる方におすすめ**
果物に多く含まれているカリウムは、体内の余分な塩分の排出を助ける働きがあります。特にバナナ、メロン、キウイフルーツなどに多く含まれています。(糖尿病、高血圧などで医師などから食事指導を受けている方は、その指導に従ってください。)

管理栄養士 山田 真里子

研修会報告

◆ 「摂食嚥下障害のケアについて」7/14 (木)

(株) 明治 三崎良太氏 / 同管理栄養士 谷岡由梨氏
摂食嚥下障害は、低栄養を招き、さらなる「食べる力」の低下に繋がります。リハビリ方法や、食材を工夫して摂取する方法など、実用的な話を伺うことができました。また明治様の栄養食品などを試飲・試食させていただきました。

◆ 「感染症予防と対策について」7/14 (木)

NPO 法人ゆうらいふ 医療サービス部 副部長 吉田江里
感染症を予防するために、日頃から気を付けるポイントを確認し、法人全体のマニュアル徹底について説明を受けました。感染症の発生時の迅速な対応も確認しました。

◆ 「誰にも迫るサイバー脅威から個人情報を守る」(プライバシー保護・倫理と法令順守) 8/25 (木)

(株) HONKI 吉田昌孝氏
聞けば聞くほどネット社会の怖さを感じるような、サイバー攻撃・個人情報漏洩の現状について話を聞きました。知識を持つことで自身を守ることはもちろん、法人として常に情報漏洩対策を講じる必要性について学びました。



8月27日(土)、晴天の中、恒例の花梨夏祭りを開催しました。花梨の利用者様とご家族、地域の皆さまや保育所かりんの園児たち・卒園児たちが約150人が来てくださり、大いに盛り上がりました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。楽しい雰囲気の中、模擬店も大繁盛で、たくさん召し上がっていただけた様です。子どもも大人も盆踊りで大いに盛り上がり、一日があっという間に過ぎました。今から来年の花梨夏祭りが楽しみです! (江川萌美)

特定非営利活動法人ゆうらいふ
事務局/担当: 西村
守山市立田町 1231-4
TEL: 077-585-4070
【Web】 <http://www.youlife.ne.jp>
【メール】 info@youlife.ne.jp

お気軽に
お電話
ください

ゆうらいふ ● デイサービス ● 福祉用具販売 ● 研修事業 ● 事務局
〒524-0214 守山市立田町 1231-4 ☎ 077-585-4070

すいれん ● 居宅支援事業所 ● グループホーム ● デイサービス
〒524-0001 守山市川田町 1541-4 ☎ 077-581-4606

かりん
花梨 ● 小規模多機能型居宅介護事業所 ● グループホーム ● 事業所内保育所 (認可)
● ナースステーション ● ヘルパーステーション ● 定期巡回・随時訪問型訪問看護
〒524-0214 守山市立田町 4135-1 ☎ 077-599-0531

トピックス

ゆうらいふの取り組みや、各事業所の活動、介護の情報など配信中です!

- ゆうらいふナースステーションの取り組み
- 利用者様からのお便り
- すいれん日記/保育所かりんだより
- 栄養だより/出前講座案内
- 研修会・学会参加報告 など

Find us on Facebook

訪問看護の現場レポート

「住み慣れた地域・我が家で安心して生活を続ける」を応援します！」をキャッチフレーズに日々活躍するナースステーションの看護師・セラピスト。その役割は、退院して我が家に戻られた利用者様に、医師の指示のもと医療処置や病状の観察を行うなど医療的なケアがあげられますが、それ以外にもご本人・家族様を支える多くの役割を担っています。

- 例えば、
- 生活リハビリテーション
 - ターミナルケア（終末期ケア）
 - 他の介護サービスや多職種との連携
- などが挙げられます。

そこで、ナースステーションの「振り返りカンファレンス」の様子をご紹介します。



ゆうらいふナースステーション

- 看護師 10 名
- 作業療法士 1 名
- 理学療法士 2 名

ゆうらいふナースステーションの取り組み

～医療と在宅の連携を深めるために～

ゆうらいふナースステーション 訪問看護師 大堀 直子



最近では、病院を退院する際に退院カンファレンス（会議）が行われることが一般的になっています。安心して自宅で生活するために、ご本人と家族、病院や地域スタッフが集まり、病状や家庭環境などを共通理解をもち、生活支援の方向性を話し合います。

ゆうらいふナースステーションでは、この退院カンファレンスに加え、退院後あるいはお亡くなりになった後に病院スタッフとの振り返りカンファレンスに参加します。これは、病院スタッフに、退院後、利用者様が在宅でどのように過ごしておられるか、入院中に受けた指導が活かされているかなどを情報提供することを目的としています。

今回は、ご本人と家族が、「最期を家ですごしたい」と希望され、退院された4日後に亡くなられた事例について意見交換をしました。



成人病センターにおける振り返りカンファレンスの様子

<病棟看護師より質問>

- 退院時に行われるご家族に対する指導について問題点はなかったか？
- 最後ご家族とどのように過ごされていたか？

<訪問看護師から報告>

- 退院当日はご本人・家族に不安が見られたが、翌日には穏やかな様子で、笑顔も見られた。
- 痰の吸引や食事については指導が行き届いており問題はなかった。
- ペースメーカーについて退院カンファレンスで確認できていたためスムーズに対処できた。
- 家族から「短い期間だったが、自宅に帰って笑顔も見られた。退院してよかった」との言葉が聞かれた。

退院後も、利用者様の生活に関わる私たち訪問看護師からの報告は、地域へ送り出す病棟看護師にとって貴重な情報だと感じています。また、訪問看護師にとり、病院に在宅医療の現状を伝え、人脈を持つことは、今後の連携を深めることへと繋がり、よい機会となります。医療と在宅生活を繋ぎ、安心して療養していただけるよう、これからも看護の質の向上に務めてまいります。

ゆうらいふナースステーションの新しい仲間です！
よろしくお祈りします

看護師
四本 直子



私は17年間、病院に勤務していましたが、以前より興味があった在宅看護に携わりたいと思い、ゆうらいふナースステーションに就職しました。訪問看護は、看護の知識や技術はもちろんですが、判断力・応用力が一層必要になります。利用者さまに関わる多職種との連携を行い、安心して在宅生活が送れるお手伝いが出来ればと思っています。

利用者様からのお便り

リハビリサポートゆうらいふ 西村 さよ子 様より

お便りをいただきましたのでご紹介させていただきます。
お声を励みに、職員一同、より良いサービスに努めます。

手術をして、退院と同時に切りになるリハビリを何とか継続して、外出が出来る身体を取り戻したい為、デイサービスのお世話になることを選んでゆうらいふに決めて、本当に良かったと思います。

家で、ましてや一人では不可能な交流の場で、その日の健康状態のチェックから始まり、おしゃべり、器具を使っただけの身体をほぐして、口腔及び、全身の体操、夢中でゲームをして、爆笑すると、痛みやつらさが半減しています。スタッフの方たちの指導で、今までやったことなかった新しいカルチャーを楽しんだり、ボランティアで来て下さる皆さんの時間にも参加して、一日があっという間に夕方になります。

プチ外出から始めた生活も、今年は、子供が海外に連れて行ってくれました。自然が素晴らしい地には、障害を持った人達、高齢の方達も多いです。福祉の充実したヨーロッパの国との比較は無理ですが、日本も最近はかなり見直されて来ていますので、もっと勇気を出して外出すれば、新しい世界が広がります。次も行きたいと意欲がわいてきます。

今回は、障害者として初めての旅行でしたが、乗り物他、行った先々で、たくさんの経験をして参りました。

元気で走り回っていた時を良く知っている友人達は、心配して連絡してきてくれ、私がデイサービスに通って、生き生きして過ごしていることが判ると、喜んでくれるだけでなく、手間のかかる外出にまで、手をさしのべて、同行してくれる真の友人知人の存在に、心から感謝し、より一層リハビリに励んで一日一日過ごしたく考えています。刺激、感動、笑いを求めて、外に出るように努力しようと思います。通所日の車をワクワクして待っています。スタッフの皆様、これからも、よろしくお祈り申し上げます。私達の為に、暑い日も、寒い風雨の日も、本当にありがとうございます。



旅先で出会った青年と（スイスにて）

すいれん日記

リハビリサポートすいれん



9月19日 敬老の日に、田中町子供会の皆さんがすいれんを訪問してくださいました。子どもたちが、「山の音楽隊」、「もみじ」、「にじいろ（朝ドラ花子とアンの主題歌）」の3曲を歌うと利用者さんからは手拍子が起こり、フロアは温かい雰囲気になりました。最後は頑張った子ども達にお礼のお菓子を手渡しました。（伊藤聡子）



グループホームすいれん

7月29日 すいれんにて花火大会を開催しました。グループホームの入居者9名様と職員の子どもたちそして、地域の住民の皆様。総勢40名以上となり、手持ち花火や打ち上げ花火、ナイヤガラをお年寄りから子どもまでひとつになって楽しみました。芝生広場を走り回ったり、アイスクリームを食べたり、浴衣を着たり、夏の夕暮れを満喫した一日でした。皆様ありがとうございました。（山瀬芳樹）

ほいくしよかりん だより



9月19日は『敬老の日』でした。そこで、今月の交流会は子ども達から手作りのけん玉や「とんとん肩たたき」のプレゼントをさせていただきました。歌に合わせておばあちゃんの肩や膝にそっと触れる子どもの姿に、利用者様の表情がにこやかに、温かく見守っていただきました。けん玉を懐かしく思い出されたのか、何度も「えいっ」と挑戦される利用者様。なかなか入らないそのけん玉のカップに、子ども達が手で玉を掴んで「ひょい!」。そんな姿にも「上手やな〜」とほめてくださり、嬉しそうなお子様の笑顔を見ることができました。今後も高齢者施設で過ごす時間を楽しみにしております。皆様、いつまでもお元気でお過ごしください。（平井周子）